

教科	科目	学年	単位数
数学	数学 C	3 年（一貫探究文系）	5
使用教科書		副教材	
数学 I・II・A・B・C（数研出版） の復習や入試問題に関する内容のもの		問題集:4STEP「数学 I + A」, 「II + B」, 「C」(数研出版) 参考書:チャート式「基礎からの数学 I + A」, 「基礎からの数学 II + B」 「基礎からの数学 C」 入試問題集を適宜購入する予定	

1. 学習到達目標

教科書で取り上げられているレベルの問題を自力で解けるようにします。解法の丸暗記ではなく、きちんとした知識にもとづいた理解をした上で練習することで、総合問題・活用問題など初見の問題も解けるようにして、大学入試問題に対応した基礎力をつけることを目標とします。

2. 評価の観点と方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
数と式、2 次関数、場合の数と確率、図形の性質、図形と計量、データの分析、いろいろな式、三角関数、指数関数・対数関数、微分・積分、数列、ベクトル、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則をもう一度体系的に理解するとともに、大学入試問題を自力で解くための基礎知識を身に付けるようにする。 また、定期試験や、朝テスト、授業などにおける小テストの結果などを総合的に評価する。	教科書の「応用例題」「節末問題」のレベルの内容を自力で考え、解くことができるようにする。また、速く正確に解答するにはどうすればよいのかを判断する力を養う。 さらに、これまでに習ってきたことを活かし、大学入試問題を自力で解けるような力を身につける。 また、定期試験や、朝テスト、授業などにおける小テストの結果などを総合的に評価する。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 授業態度、課題への取り組み、振り返り状況などを総合的に評価する。

3. 学習内容（科目の特徴や学習の注意点など）

	月	単元	授業内容	その他
1 学期	4	オリエンテーション		「授業の受け方」「学習の方法」「課題」「朝テスト」「定期テスト」「成績のつけ方」などのガイダンス
	5	大学受験対策	教科書の本文レベルの確認	・数学 I・数学 A・数学 II・数学 B・数学 C の全範囲を一通り総復習します。 ・参考書「チャート式」の基本例題のうちレベル 2 の問題を中心に自力で解けるか確認します。 ・参考書「チャート式」の EXERCISES のうちレベル 2 を自力で解けるようにします。 ・「大学入学共通テスト予想問題」などの演習も随時行う予定です 最新の大学入試の状況により、扱う内容・進度・教材を変更する場合があります。

2・3 学期	6	大学受験対策	教科書の節末・章末問題 レベルの確認	・数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Cの全範囲を一通り総復習します。 ・参考書「チャート式」の基本例題のうちレベル3の問題を中心に自力で解けるか確認します。 ・参考書「チャート式」のEXERCISESのうちレベル3を自力で解けるようにします。 ・「大学入学共通テスト予想問題」などの演習も随時行う予定です 最新の大学入試の状況により、扱う内容・進度・教材を変更する場合があります。
	7			
	8	大学受験対策	大学入試の初級～中級レベルの演習	・数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Cの全範囲を総復習と総合的な問題にも対応できるようにします。 ・参考書「チャート式」の重要例題のうちレベル3の問題を中心に演習し、その問題のテーマと解法を思いつ
	9			- くためのアイディアや知識などの重要ポイントを整理していくことで、入試問題の典型的な重要問題を自力で解けるようにします。 ・参考書「チャート式」のEXERCISESのうちレベル3の演習と解説をもとに自力で解けるようにします。 ・「大学入学共通テスト予想問題」や最新の「国公立大学2次試験問題」「私立大学入試問題」の初見問題の演習も行う予定です。 最新の大学入試の状況により、扱う内容・進度・教材を変更する場合があります。
	10	大学受験対策	大学入試の中級～上級レベルの演習	・数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B・数学Cの全範囲を総復習と総合的な問題にも対応できるようにします。 ・参考書「チャート式」の重要例題のうちレベル4の問題を中心に演習し、その問題のテーマと解法を思いつ
	11			- くためのアイディアや知識などの重要ポイントを整理していくことで、入試問題の典型的な重要問題を自力で解けるようにします。 ・参考書「チャート式」のEXERCISESのうちレベル4の演習と解説をもとに自力で解けるようにします。 ・「大学入学共通テスト予想問題」や最新の「国公立大学2次試験問題」「私立大学入試問題」の初見問題の演習も行う予定です。 最新の大学入試の状況により、扱う内容・進度・教材を変更する場合があります。
	12	大学受験対策	大学入学共通テストの演習	・センター試験の過去問や大学入学共通テスト予想問題を中心に行います。制限時間内に合格点が取れるかのトレーニングとリハーサルを行います。 ・大学入学共通テスト対策以外にも、「国公立大学2次試験問題」「私立大学入試問題」の初見問題の演習も行い、記述形式の演習も随時行います。 最新の大学入試の状況により、扱う内容・進度・教材を変更する場合があります。
	1			

4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

授業で使用する教科書(教材)は、最新の大学入試状況や、生徒の現状、実態、進路希望に配慮しながら選定しますが、これまで使用してきた参考書「チャート式」をいつも手元に置き、常に確認しながら進めることになります。

1学期は主に、「チャート式」の基本例題のうちレベル2～3とEXERCISESの問題の解法の確認を中心に扱います。これらの問題は、教科書の「例題」「応用例題」「節末問題」「章末問題」のレベルですので、これまでに学んできた内容の復習と定着を図ることを中心としながら、随時センター試験の予想問題などの演習も行っていきます。

2学期は主に、「チャート式」の重要例題のうちレベル3～4を中心に扱います。これらの問題は、教科書では直接扱われていない問題も含まれていますが、大学入試の問題の中でも典型的で重要な問題がそろっています。これらの問題を解きながら、その問題のテーマとその問題の解法を思いつくるのに必要なアイディアや知識などの重要ポイントを整理しながら身につけていきましょう。身についたか確認をするために、類題である練習問題を解けるかテストします。また、その応用として、レベル3～4のEXERCISESの問題の演習と解説で実力アップを図ります。さらに余力のある場合はレベル5まで扱う場合もあります。このように、「チャート式」の重要例題を中心としながら、受験の実践として、大学入学共通テストの予想問題や、最新の入試問題(国公立大学の2次試験問題や私立大学の入試問題)など、初見問題の演習を随時行いながら、制限時間内に正解するためのトレーニングやリハーサルを行う予定です。

ただし、最新の大学入試状況や、生徒の現状、実態、進路希望に応じて、授業の内容や方法を随時変更する場合がありますので、詳細は授業でお知らせします。